

# ファインフェンス II 施工説明書

この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。  
 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。

## 組立・施工の前に

- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

## 施工時の注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分ご注意ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時にご確認ください。
- 基礎施工時は地下の埋没物にご確認ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

## 注意

- フェンス本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- フェンスをみだりに改造、変更しないでください。
- 本商品は隣地境界の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- フェンスに電線等を直接載せないでください。
- 本商品は樹脂材料を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れる恐れがあります。



## 使用上のご注意について

- フェンスに鉢等をかける場合は、1個5kg以下にしてください。またフェンス1枚あたり15kgを超えないようにしてください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分ご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

## 樹脂製品のお手入れ方法について

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

## もくじ

梱包明細.....	2	3. 上棧の取付け.....	4	5. 切詰めを行う場合.....	6
納まり図.....	2	3-1. 上下棧取付金具の取付け.....	4	5-1. 上下棧の切詰め.....	6
1. 柱の設置.....	2	3-2. 上棧の取付け.....	4	5-2. パネルの切詰め.....	7
1-1. 柱の設置.....	2	4. 柱部品の取付け.....	5	施工工事店様、販売店様へのお願ひ.....	8
2. 下棧とパネルの取付け.....	3	4-1. 柱キャップの取付け.....	5		
2-1. 上下棧取付金具の取付け.....	3	4-2. 捨てビスの取付け(端柱・90°角柱).....	5		
2-2. 下棧の取付け.....	3				
2-3. パネルの取付け.....	4				

# 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 施工説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

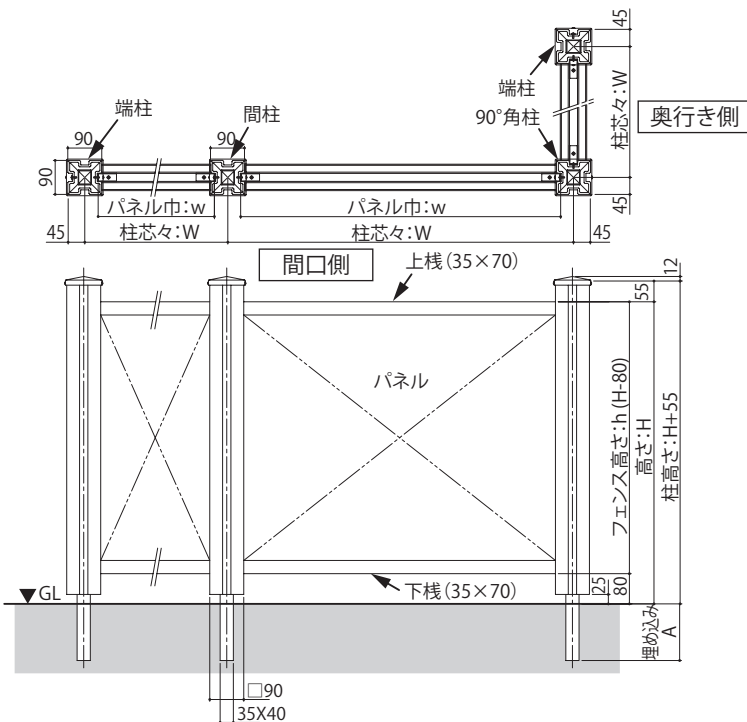
表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	梱包内容
パネル本体	パネル (1)
間柱	間柱 (1)・間柱キャップ (1)・φ4×40 トラスタッピン 3種 (2)・施工説明書 [ME-1729] (1)
上下棧セット	上棧 (1)・下棧 (1) ※1
上下棧取付金具セット	上下棧取付金具 (4)・M5×10 皿小ネジ (4)・M4×14 トラ小ネジ (16)・M4用平座金 (8)

※1 W1200用の下棧には、アルミ補強材が入っています。

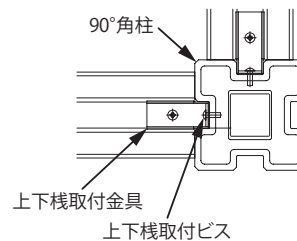
# 納まり図

- 施工前に必ず確認してください。



## ●寸法一覧表

高さ	フェンス高さ	柱芯々	パネル巾	埋め込み
H	h	W	w	A
600	520	1200	1132	150
800	720	1200	1132	150
1000	920	1200	1132	150
1200	1120	1200	1132	190
1400	1320	1200	1132	190
1800	1720	800	731	250



ME1729-001

ME1729-020

# 1

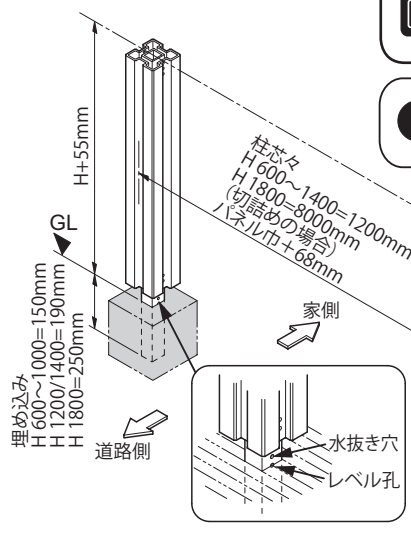
## 柱の設置

### 1-1 柱の設置

①「納まり図」で寸法を確認し、柱を埋め込んでください。

- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 位置およびレベルを正確に合わせて、柱を埋め込んでください。
- レベル孔を目安に、水抜き穴をふさがないように柱を埋め込んでください。

●柱には表裏があります。表（柱固定ビス・加工孔の無い側）を道路側に設置してください。

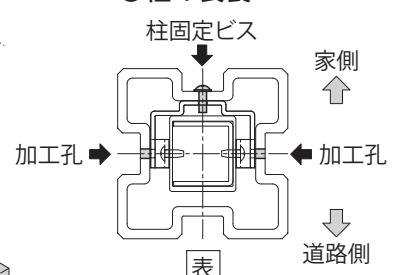


パネル切詰め時：  
柱芯々=パネル巾+68mm



位置とレベルを  
合わせる。

### ●柱の表裏



ME1729-003

ME1729-004-3

# 2

## 下棧とパネルの取付け

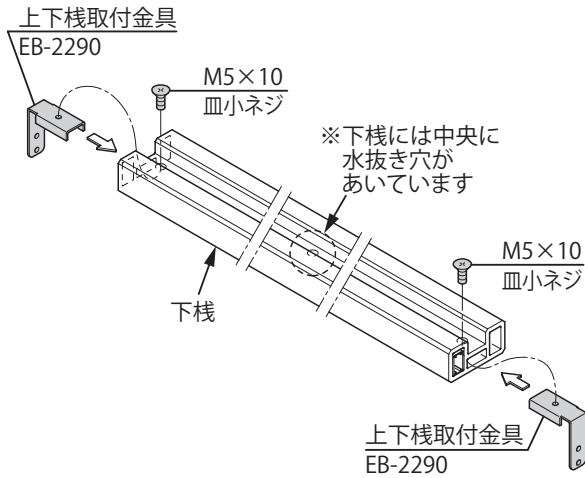
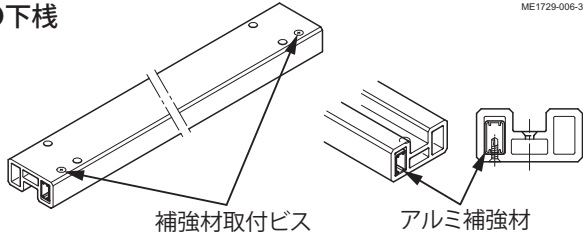
### 2-1 上下棧取付金具の取付け

①下棧に上下棧取付金具を取付けてください。



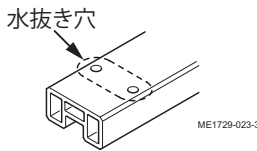
H600 ~ 1400 の場合は、下棧にアルミ補強材が入っています。

●下棧



- 上棧・下棧を間違えないようにしてください。
- 下棧には水抜き穴があいています。

●下棧



### 2-2 下棧の取付け

①フェンスの幅方向の柱に下棧をスライドさせて挿入し、ビスで取付けてください。



ビスを締付け過ぎないようにしてください。  
※ビスを締付け過ぎると、柱（樹脂材料）が割れる原因になります。

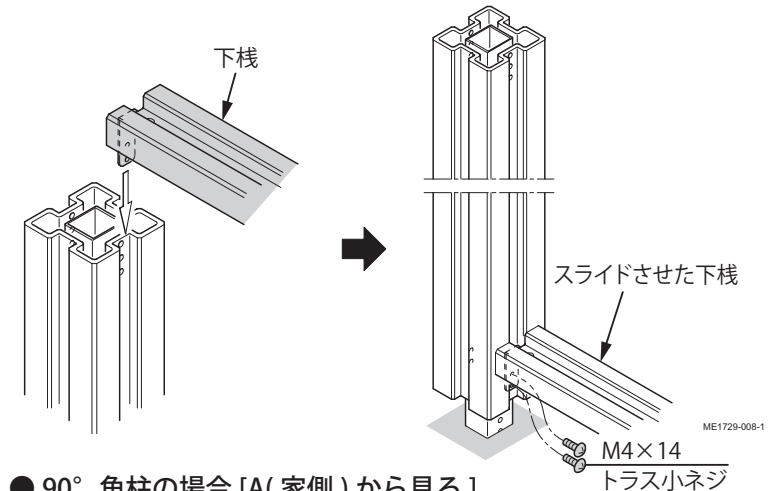
②90°角柱仕様の場合は、図の位置の柱固定ビスと平座金を取外してから、奥行き側に下棧を取付けてください。



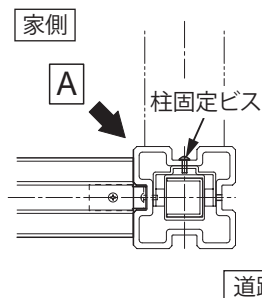
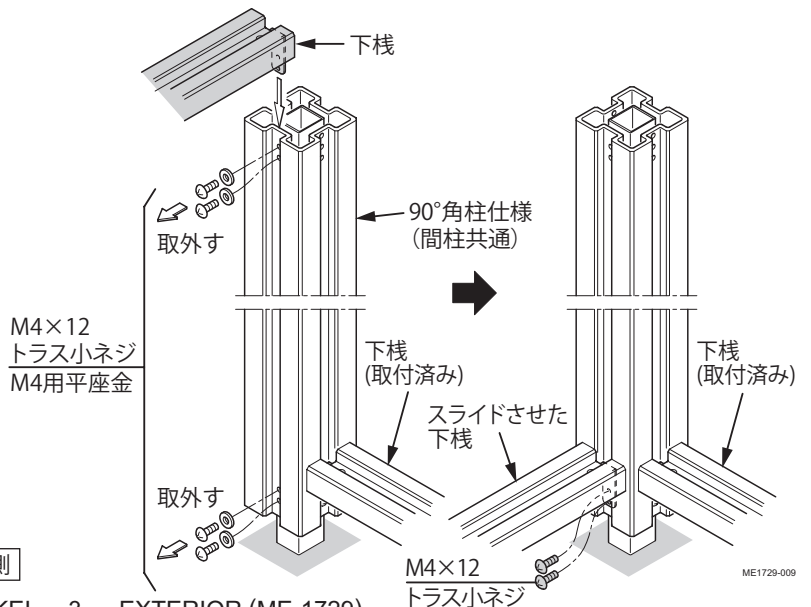
柱に取付いているビスを、一度にすべて取外さないでください。  
※取外してしまうと、柱が抜け落ちます。



取外した柱固定ビスを使用して、下棧を取付けてください。平座金は不要になります。

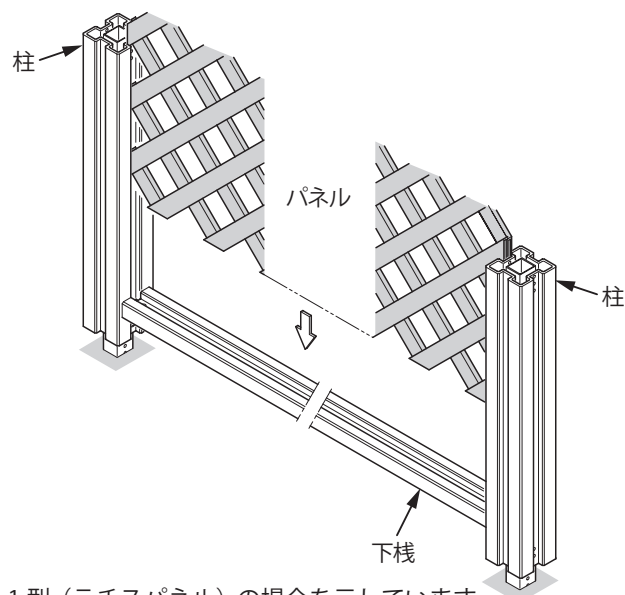


●90°角柱の場合 [A(家側)から見る]



### 2-3 パネルの取付け

- ① 柱上部の溝にパネルをスライドさせて挿入し、パネルを下棧で固定してください。



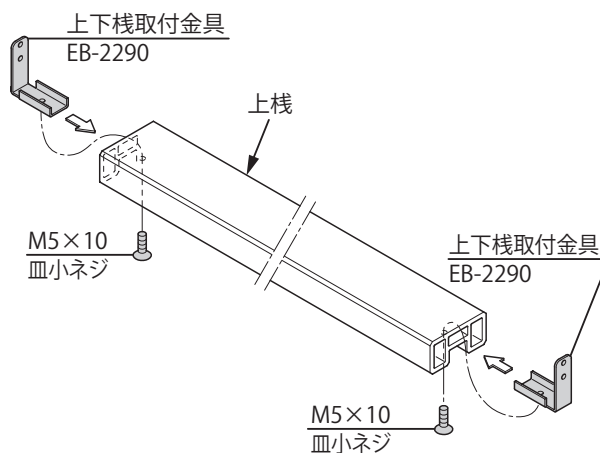
※図は1型（ラチスパネル）の場合を示しています。

ME1729-013

## 3 上棧の取付け

### 3-1 上下棧取付金具の取付け

- ① 「2-1. 上下棧取付金具の取付け」と同様の手順で、上棧に上下棧取付金具を取付けてください。



ME1729-015

### 3-2 上棧の取付け

- ① 柱に上棧をスライドさせて挿入し、ビスで取付けてください。

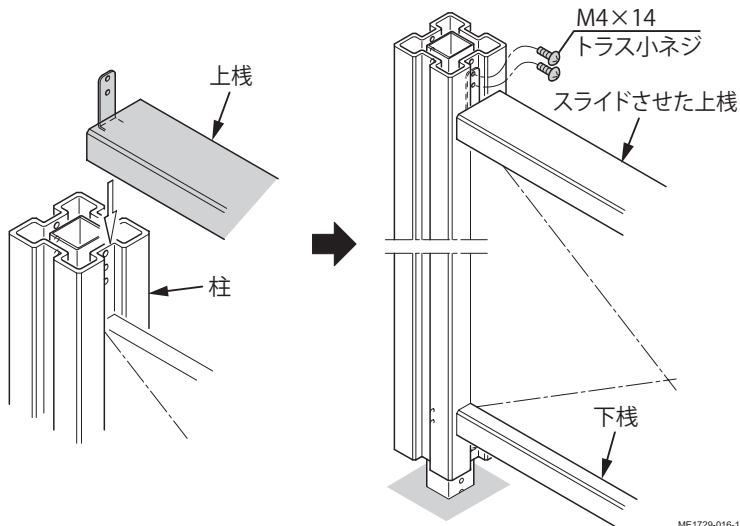


取付ビスは「2-2. 下棧の取付け」で取外したビスを使用してください。



ビスを締付け過ぎないようにしてください。

※ビスを締付け過ぎると、柱（樹脂材料）が割れる原因になります。



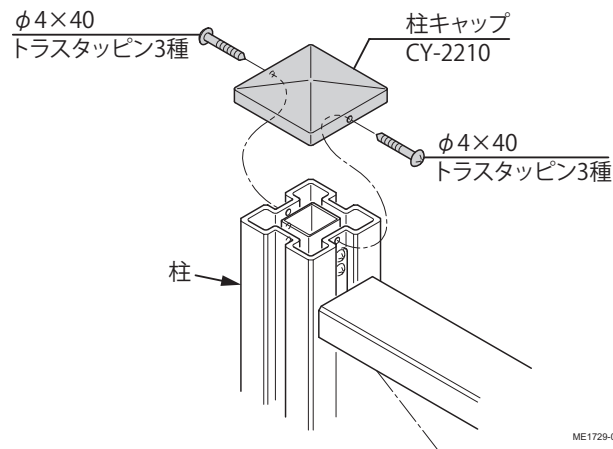
ME1729-016-1

# 4

## 柱部品の取付け

### 4-1 柱キャップの取付け

①柱キャップを柱に取付けてください。



### 4-2 捨てビスの取付け (端柱・90°角柱)

①端柱および90°角柱に、捨てビス・平座金を取付けてください。



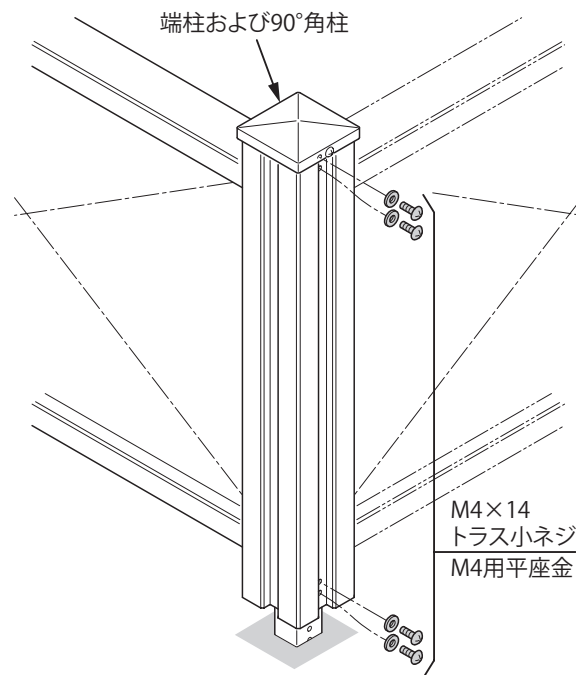
上下棧取付金具と同梱のビスを使用してください。

●使用ビス：M4×14 トラス小ネジ  
M4用平座金



ビスを締付け過ぎないようにしてください。

※ビスを締付け過ぎると、柱（樹脂材料）が割れる原因になります。



# 5

## 切詰めを行う場合

●現場の状況に応じて、切詰め作業が必要な場合に参照してください。

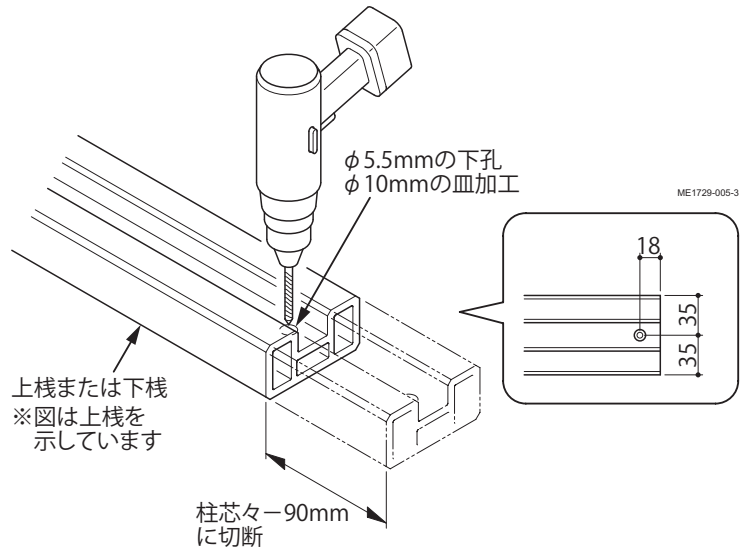
### 5-1 上下棧の切詰め

①「柱芯々ー90mm」の寸法で、上下棧を切詰めてください。



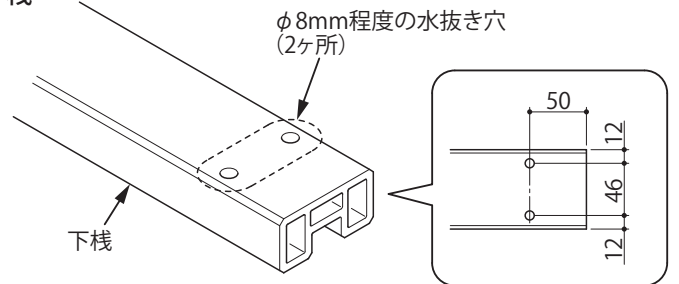
- H600～1400の場合は、下棧にアルミ補強材が入っています。
- アルミ補強材は下棧より短くなっています。必ず下棧より取り出して、「柱芯々ー90mm」切詰めてください。

②切詰め後、上下棧端部にφ5.5mmの下孔をあけ、φ10mmの皿加工を行ってください。



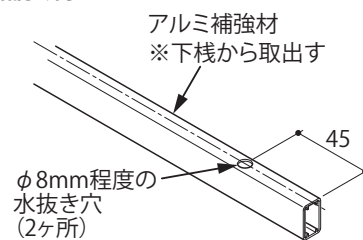
③切詰めた側の下棧端部に、φ8mm程度の水抜き穴を2ヶ所あけてください。

#### ●下棧



- H600～1400の場合は、下棧にアルミ補強材が入っています。
- H600～1400の場合は、下棧から取り出したアルミ補強材にもφ8mmの水抜き穴をあけてください。
- 水抜き穴加工後、下棧に補強材を入れ、補強材取付けビスで固定して下さい。この時、下棧のビス取付位置にφ5mmの下孔をあけ、φ8mmの皿加工を行ってください。

#### ●アルミ補強材



## 5-2 パネルの切詰め

●パネル別の指定の寸法で、パネルを切詰めてください。



切断部が同じ形状になるように指定のピッチ  
毎で切詰めてください。

※指定ピッチで切詰めないと、パネルががたついたり、接着がはがれることがあります。



パネル材料が割れることのないよう十分に  
注意して切断してください。



高さ方向を切詰めないでください。

※高さ方向を切詰めると、上下枠を取付けることができなくなります。



●1型・3型パネルの場合は、パネルの高さによって端部の切詰め寸法が異なります。

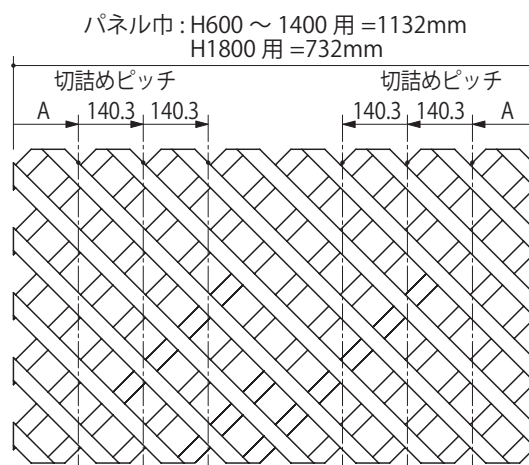
●寸法表を参照してください。

### 1型（ラチスパネル）の場合

①パネル高さに応じて、指定の寸法でパネルを切詰めてください。

●寸法表 (mm)

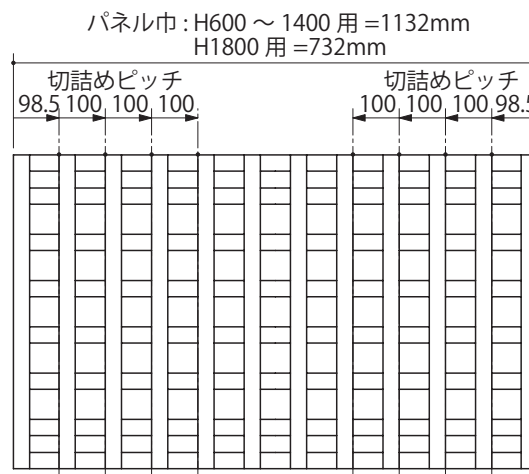
パネル高さ	A 寸法
H600～1400	145.0
H1800	15.2



ME1729-010-2

### 2型（井桁パネル）の場合

①右図の寸法でパネルを切詰めてください。



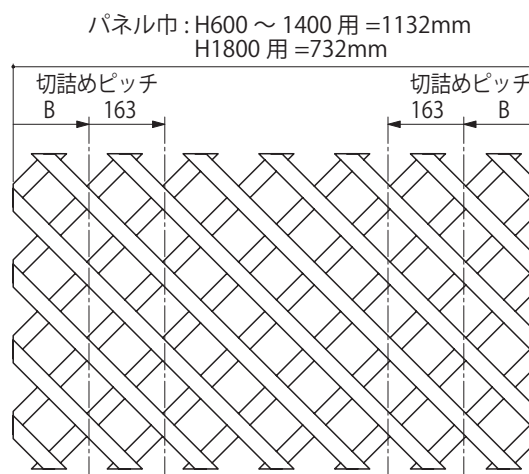
ME1729-011

### 3型（粗ラチスパネル）の場合

①パネル高さに応じて、指定の寸法でパネルを切詰めてください。

●寸法表 (mm)

パネル高さ	B 寸法
H600～1400	158.5
H1800	40.0



ME1729-021-2

---


---

## ■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店		TEL ( )	-
販売店		TEL ( )	-

---

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談センター  0120-126-001